

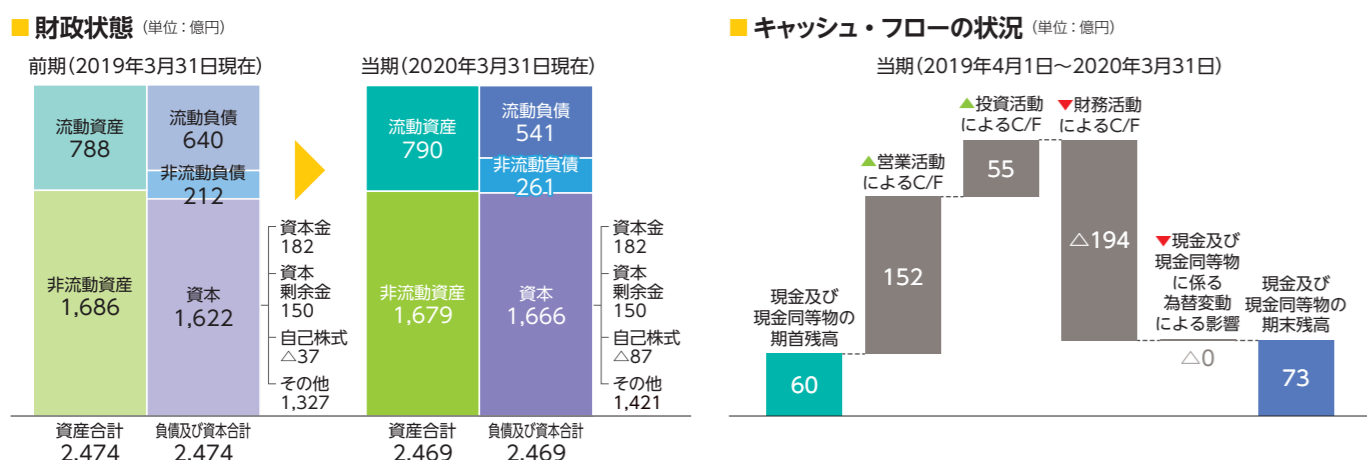
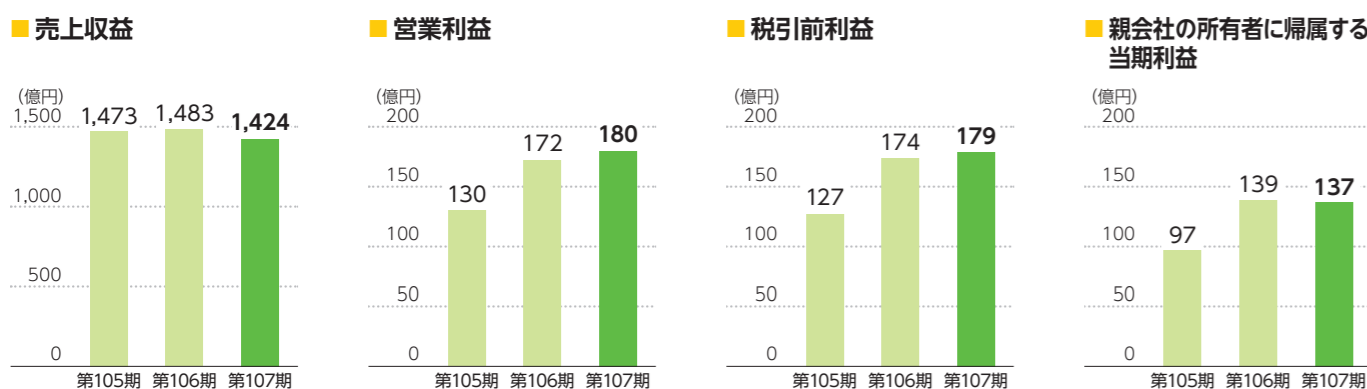
◆ 連結財務ハイライト

詳細はこちらをご覧ください

<https://www.kureha.co.jp/ir/zaimu/>



科目	第105期 (2017年度)	第106期 (2018年度)	第107期 (2019年度)
売上収益	(億円) 1,473	1,483	1,424
営業利益	(億円) 130	172	180
税引前利益	(億円) 127	174	179
親会社の所有者に帰属する当期利益	(億円) 97	139	137
基本的1株当たり当期利益	(円) 507.48	679.55	692.61
資産合計	(億円) 2,423	2,474	2,469
資本合計	(億円) 1,520	1,622	1,666
親会社の所有者に帰属する持分	(億円) 1,502	1,606	1,650
親会社所有者帰属持分比率	(%) 62.0	64.9	66.8
1株当たり親会社所有者帰属持分	(円) 7,271.67	7,922.58	8,453.07



※億円単位の金額は、端数を四捨五入して表示しております。

■ 第107期剰余金の配当(期末配当)に関する取締役会決議

当社は、剰余金の配当等の決定に関して、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備えること、および、安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としております。

2020年4月21日開催の当社取締役会において、第107期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の期末配当は、1株当たり85円とすることを決議いたしました。

1株当たりの配当金(円)

	106期	107期
中間	70	85
期末	95	85
年間	165	170

◆ 会社概要 / 株式の状況

会社の概要 (2020年3月31日現在)

商号 株式会社クレハ
 英文社名 KUREHA CORPORATION
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
 設立 1944年6月21日
 資本金 18,169百万円
 グループ従業員数 4,271名(単独:1,695名)
 連結対象会社数 30社(連結子会社28社、持分法適用会社2社)
 ホームページ <https://www.kureha.co.jp/>

役員 (2020年6月24日現在)

代表取締役社長 小林 豊
 取締役常務執行役員 佐藤 通浩
 取締役常務執行役員 野田 義夫
 社外取締役 戸坂 修
 社外取締役 樋口 一成
 常勤社外監査役 桐山 勝
 常勤監査役 吉田 徹
 社外監査役 押味 由佳子
 常務執行役員 西畑 直光
 常務執行役員 陶山 浩二
 執行役員 田中 宏幸
 執行役員 名武 克泰
 執行役員 米澤 哲
 執行役員 並川 昌弘
 執行役員 佐藤 浩幸

株式の状況 (2020年3月31日現在)

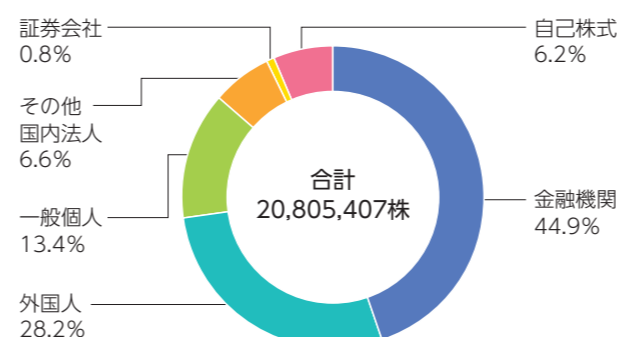
発行可能株式総数 60,000,000株
 発行済株式総数 20,805,407株
 株主数 11,754名

大株主の状況 (2020年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,683	8.6
明治安田生命保険相互会社	1,374	7.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,317	6.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	639	3.3
東京海上日動火災保険株式会社	600	3.1
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	417	2.1
株式会社みずほ銀行	400	2.0
J.P. MORGAN CHASE BANK 385151	363	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	342	1.8
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	338	1.7

注) 持株数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。
 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株式の所有者別構成比 (2020年3月31日現在)



● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。
 (<https://www.kureha.co.jp/ir/stocks/koukoku.html>)
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1-2-1
 みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。
 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

- お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
 みずほ信託銀行 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324
 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
- お取扱店 みずほ証券およびみずほ信託銀行^(※)
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
- 未払配当金のお支払 みずほ信託銀行^(※)およびみずほ銀行(みずほ証券では取次のみとなります)
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION



クレハレポート

KUREHA REPORT

第107期 期末報告書

2019年4月1日 》 2020年3月31日

トップメッセージ

新たな価値を創出し
 社会に貢献し続ける

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION

証券コード：4023



新たな価値を創出し社会に貢献し続ける

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。

当社第107期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の「クレハ レポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 **小林 豊**

▶ 当期の概況について

2019年は中国経済の減速と米中貿易摩擦をきっかけに世界経済の成長が鈍化する一方で、わが国経済は個人消費拡大による堅調な内需に支えられて緩やかな景気回復を続けてきましたが、10月の消費税増税後マイナス成長に転じ、2020年初頭より新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、内外経済は深刻な景気後退に陥りました。

当社におきましては、建設関連、その他関連の両事業が増収となりましたが、機能製品、化学製品、樹脂製品が減収となり、売上収益は前期比4.0%減の1,423億98百万円となりました。PGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品事業(以下、PGA事業)に関わる構造改革費用を「その他の費用」で計上した一方で、本社別館の土地売却などの「その他の収益」を計上したことにより、営業利益は同5.1%増の180億41百万円、税引前利益は同2.9%増の179億44百万円となりましたが、法人所得税費用の増加により親会社の所有者に帰属する当期利益は同1.5%減の137億19百万円となりました。

当期末未配当金は、当初の予想通り1株につき85円とさせていただきます。

▶ 中期経営計画

「Kureha's Challenge2020」の進捗状況

中期経営計画「Kureha's Challenge2020」(以下、中計2020)の初年度にあたる2019年度は、前中計「Kureha's Challenge 2018」(以下、中計2018)に引き続き、「製品差別化」と「新事業創出」を基本的なコンセプトとし、機能製品事業をコアとする事業ポートフォリオへの変革と高付加価値企業として飛躍する土台固めに取り組んできました。

2019年1月にいわき事業所(福島県いわき市)で、年産2千トンの設備増強を行ったリチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂は、世界的な自動車の電動化の流れを受けて中国・韓国の大手電池メーカーへの売上げが増加しました。

シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA樹脂製フラックプラグの売上げは伸長しましたが、顧客要求が厳しくなっていることや競合品との価格競争激化、及び原油価格下落などの市場環境の変化により、PGA樹脂製フラックプラグをコア製品と位置付けつつ、製品ポートフォリオの拡充を含む事業戦略への変更を行いま

した。その結果、多額の構造改革費用を計上することになりましたが、今後は今までのプラグ開発から得た知見を活かした商品開発で、競争力のさらなる強化を図ってまいります。

中計2018で発足した新事業創出プロジェクトは4年を経過しましたが、差別化された技術により、社会課題(環境・エネルギー)の解決や人々の健やかな生活(ライフ)に貢献する事業の拡大を目指しています。2019年度は英米のスタートアップ企業2社(次世代型3Dマルチタッチセンサー技術関連・Cambridge Touch Technologies Ltd.、微生物相互作用解析技術関連・Boost Biomes Inc.)への投資を行いました。株式会社クレハ環境は、2020年4月にひめゆり総業株式会社を完全子会社化し、産業廃棄物の収集運搬から中間処理、最終処分までの一貫したサービスを提供することが可能となりました。国連により提唱されたSDGsでは、さまざまな社会課題の解決に向けた企業の貢献が求められており、当社グループは産業廃棄物の適切な処分という事業を通じ地球環境の保全に取り組み、付加価値を創出してまいります。なお樹脂製品事業の多層ブローボトルは、2019年11月に会社分割により共同印刷株式会社に事業を承継しております。

▶ 今後の取り組みと2021年3月期の業績予想

2020年度は、中計2020の最終年度であり、「PGA事業の拡大と利益創出」、「フッ化ビニリデン樹脂事業の更なる拡大」、「既存事業のビジネスモデル最適化」、「新規事業の国内外における探索と育成」、「経営基盤の強化」の5つの経営目標達成に向けて取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、わが国や世界の社会・経済への大きな影響が続き、世界的な景気の後退を含めて事業環境は大きく変化しており、中計2020で掲げた「営業利益180億円」の定量目標達成は非常に厳しい状況となっております。2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が当社事業に及ぼす影響を、合理的に算定することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

当社は、これからも「技術立社」企業としての存在感を高め、新たな価値を創出し社会に貢献し続ける高付加価値型企業となることを目指してまいります。

詳細はこちらをご覧ください

https://www.kureha.co.jp/ir/policy/segment.html



機能製品事業

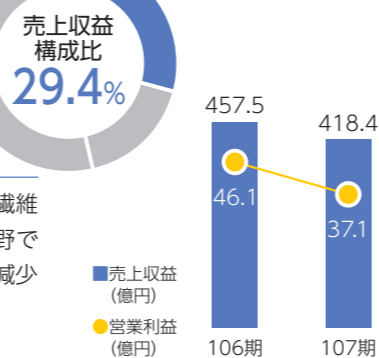
売上収益 **418.4**億円 (前期比91.5%)

機能樹脂分野

リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂およびシェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品の売上げは増加しましたが、PPS樹脂およびその他の機能樹脂加工品などの売上げが減少し、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。

炭素製品分野

高温炉用断熱材向けの炭素繊維の売上げが減少し、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。



化学製品事業

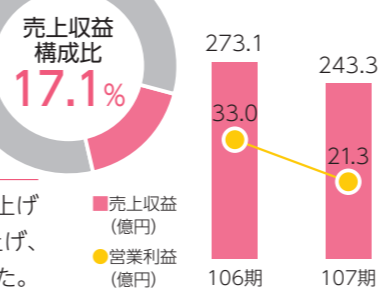
売上収益 **243.3**億円 (前期比89.1%)

医薬・農業分野

慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上げは前期並みでしたが、農業・園芸用殺菌剤の売上げは減少し、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。

工業薬品分野

無機および有機薬品類の売上げが減少し、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。



樹脂製品事業

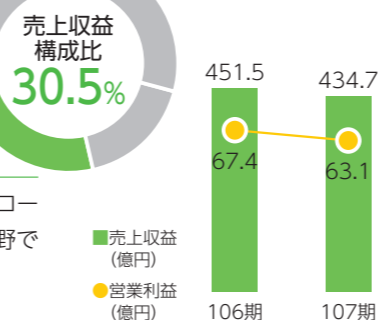
売上収益 **434.7**億円 (前期比96.3%)

コンシューマー・グッズ分野

家庭用ラップ「NEWクレラップ」およびフッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

業務用食品包装材料分野

熱収縮多層フィルム等の売上げが減少し、ブローボトル事業の譲渡を行ったこともあり、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。



建設関連事業とその他関連事業

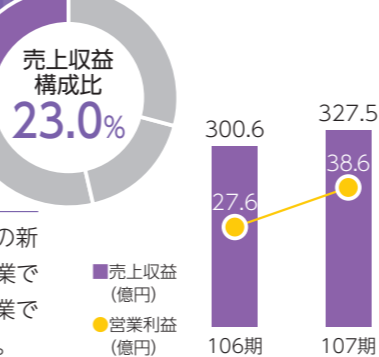
売上収益 **327.5**億円 (前期比109.0%)

建設関連

建築工事および土木工事の増加により、売上げ、営業利益はともに増加しました。

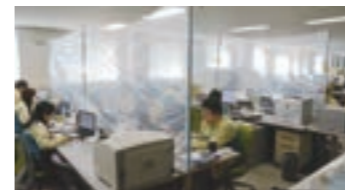
その他関連

環境事業では、産業廃棄物処理の増加およびひめゆり総業(株)の新規連結により、売上げ、営業利益はともに増加しました。運送事業では、売上げ、営業利益はともに前期並みとなりました。病院事業では、売上げは増加しましたが、営業利益は前期並みとなりました。



▶ 新型コロナウイルス感染症への当社の対応

政府による「緊急事態宣言」の発令にともない、感染拡大防止と従業員の安全確保を目的に本社(東京)、営業所(大阪、福岡、名古屋、仙台)に勤務する全従業員は4月7日から5月31日まで原則在宅勤務としました。また、事業所(いわき、茨城、兵庫)および、いわき地区と茨城地区の研究所に勤務する従業員については、各県の「緊急事態措置」および「感染症対策基本方針」に基づく感染症対策に加え、各職場における対策を講じ、勤務しました。製品の生産、出荷については通常通り行いました。



事業所では各部署で執務室に対策を講じました

TOPICS

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)との共同研究

宇宙空間に存在する原子状酸素。この原子状酸素をプラスチック材料の表面に照射すると微細な凸凹が生じます。この表面形状変化によって抗菌性能が発現することをJAXAとの共同研究で見つけました。原子状酸素は、国際宇宙ステーションや地球観測衛星が飛行する高度数百kmの軌道上に多く存在しています。ロケットや人工衛星等で使用しているプラスチック材料は、原子状酸素と衝突することで表面が削られてしまうため、原子状酸素は材料の性能を低下させる原因として認識されていましたが、当社とJAXAの共同研究の中で、原子状酸素の新たな作用が明らかになりました。これにより、抗菌剤などを添加することなく、抗菌性を付与することが可能となります。当社が長年培ってきた樹脂素材の開発と加工技術を生かし、引き続きJAXAとの共同研究を進め、実用化に向けた応用展開に取り組んでまいります。

詳細はこちらをご覧ください

https://www.kureha.co.jp/newsrelease/uploads/20200214_kureha_JAXA.pdf



クレハエクストロンかすみがうら新工場竣工式

10月4日、クレハエクストロン(茨城県かすみがうら市)の新工場が完成しました。

機能樹脂加工品を製造・販売するクレハエクストロンは、2019年4月1日に経営資源の効率的な活用をはかるため、機能樹脂フィルムの押出加工を主要事業としていたクレハエクテックと合併しました。このたびの新工場の完成により、製造・販売の拠点を集約し、事業基盤をさらに強化していきます。

2020年6月24日
東京都中央区日本橋浜町3-3-2株式会社 **クレハ**代表取締役社長 **小林 豊**

第107回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月24日開催の第107回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

- 第107期(2019年4月1日から2020年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第107期(2019年4月1日から2020年3月31日まで) 計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 取締役5名選任の件**
本件は、原案のとおり承認可決され、小林 豊、佐藤 通浩、野田 義夫、戸坂 修の4名が再選、重任し、樋口 一成が新たに選任、就任いたしました。
- 第2号議案 監査役1名選任の件**
本件は、原案のとおり承認可決され、吉田 徹が再選、重任いたしました。
- 第3号議案 取締役に対する賞与支給の件**
本件は、原案のとおり承認可決され、当期の業績等を勘案し、業績連動賞与として、社外取締役を除く当期末の取締役3名に対し、総額71,000千円の役員賞与を支給します。